

シーン3 満員電車で…

「ええっと、次の授業は…え？ デリヘルアプリの通知…は？ ここで！？ 学園の教室よ！？」

「嘘…、組織の装置で、学園全体に大規模な催眠を掛けた、だなんて…いつもの、い、言わなきゃいけないの？」

「うう……デリヘルアプリでご指名頂きました、龍槍神機フロスト・ジーン、鷹梨燐です」

「この度、ご注文頂いたのは…通常コースに加えてパイズリを追加…オプションとして、

露出性癖、羞恥興奮付与となっています」

「…くっ、また人前で辱めを…っ！？ 本当にゲスなことしか考えていないのね…反吐が出るわ…学園の人たちを人質に取るだなんて…みんなに手を出したら許さない……っく、わかってるわよ」

「授業中にこんなこと、うう、やれば良いんでしょ……」

「パイズリ……胸におちんちんを挟んで、上下にしごいて……なんて不潔なっ……くうっ

……ええ、催眠洗脳のお陰ですっごく興奮しちゃってますっ……うう……服は脱がずに

……制服の買えなんて持ってきてきてないのに……ふあっ、何度見てもおおきい……」

「教室で、みんな授業してるのに、ブラを取ったわ……ま、まわりはほんとに私達のこと
見えてないみたいに座ったままで……うう、パイズリやらなきやいけないのよね……」

「…はあ、はあ…おチンポ…制服の胸の間に差し込んで…んっ♡ あっ♡ 服の上からう
っすら見えちゃう……はあ、はあ…」

「くっ…すぐくっ、熱い…はあ、んっ…はあ、はあ、はあ…ううっ…」

「なんでもう、こんなに硬くしてるのよ…くっ…変態め…んっ…はあ、はあ、はあ、うう
…ああ…ガチガチのおチンポ…ううっ♡ 私の胸の中で、ドクドクって脈打ってる…はあ、
はあ…」

「んっ…ああ…♡ こんな、こすり続けてたら、火傷しそう…ううっ…はあ、はあ、ん
んっ…」

「不潔よ、不潔……こんな不潔な行為……催眠洗脳で無理やり気持ちよくされちゃってる
んだから……はあ、はあ、胸の谷間からおちんぼのせーしの匂いが♡」

「よだれで濡らして……体ごと上下に……おっぱいもむにむに、う、動かすのよね……」

「はあ、はあ、はあ…い、今に見てなさい…くっ♡ はあ、はあ、んっ…はあ」

「こんなことを続けて、無事でいられるなんて、思わないことね…んっ、あっ、ううっ♡
隙を見せたら、絶対…アナタなんて、打ち倒して、やるんだから…んっ、あっ…うう
っ!♡」

「あぁっ！♡ ダメっ♡ んんっ！♡ 乳首っ、イジるのはぁっ！♡ んんんんううっ！

♡ はぁはぁ、はぁはぁ、くっ、ううっ…♡ なんで、私の体、こんなに感じるのよ…」

「くっ、うううっ…んっ♡ はぁっ…はぁっ…はぁっ…んぁっ♡ んんっ！♡ あっ♡

あっ♡ あっ♡ おチンポからっ、ネットネットした液体が…くっ♡ んんっ♡」

「もうっ、射精するの？ はぁはぁ♡ んんっ♡」

「私の、おっぱいで、気持ちよくなって…そのまま、精子、ドピュドピュって出す気、なの？♡ はぁっはぁっ、んんっ♡ あぁっ…♡ すごい…♡ どんどん、キンタマ、上がってきてるの、分かるう♡」

「はぁはぁ♡ あっ、くるっ…来るうっ♡ 精子っ、もうっ…きちゃううううっ！

♡♡♡」

「んんっ♡……はぁっ、はぁっ、はぁはぁ、んっ♡…あぁ♡」

「すっごいっ♡ 臭っさい♡ 制服が精液で、こんなにドロドロに…♡ んっ♡ はぁ、

はぁ、はぁ…はぁぁ…えっ…？ よ、喜んでるわけ、無いでしょ！？ たくさん精液、

ぶっ掛けられて…」

「制服こんなにネバネバにされてるのに…くっ、ううっ…はぁ、はぁ、はぁ…絶対におい染み付いちゃった」

「息するたびに、精液の臭いで頭、クラクラする…うう…♡」

「え、ええー？ 黒板の前って…うそ…だって、みんな、あ、あ…みんな見てる…うう、たしかにみんな授業を受けてるだけ、だが…みんなの視線が♡」

「くっ…うう…こんな辱めを受けるだなんて…催眠しているとはいえ…皆に見せびらかしながら、セックス…っ！♡ よくも、そんな外道なことが思いつくのね…はあ、はあ、はあ…」

「それでも私は、く、屈することはない…はあ、はあ♡ 先生が黒板書いてる隣でお尻突き出して…こんなこんな♡」

「心は絶対に…アナタなんか…くっ、うう…」

「はあっ…♡ はあっ…♡ はあっ…♡」

「おちんちん、ひあっ♡ 入って…ん、んあっ♡ みんなに見られてるう♡ っ！？ こんなこと、されてっ…喜んでるわけ、ないでしょ、これも、催眠の…んんうっ！♡」

「あっ♡ あっ♡ あっ♡ あっ♡ ああっ！♡ 奥まで入ってっ、きたあっ！

♡ んんっ！♡ コンドーム付けてない、ナマチンポおっ♡ あっ、ああっ！♡ これ、

しゅいごっ♡♡」

「…んあっ、はあはあ、はあはあ、んんうっ！♡ …こ、これは、催眠のせいっ…はあはあ」

「催眠のせいだから…んんぐうつ みんなの前で犯されてっ 死ぬほど恥ずかしいの
にっ♡」

「感じてる訳なんてっ、ないいいっ！♡ 気持ちいいハズないっ！♡ こんなことっ♡
ありえないんだからああっ！！♡ あっ♡ ああっ！♡」

「これっ、ホントすごっ♡ ゴムなしのっ、おチンポっ♡ すごいのおっ♡」

「これだけでっ、こんなにつ、なっちゃうなんてっ…おかしいっ、のにいっ！♡ あん
っ！ あああっ！♡ ダメっ♡ ダメなのっ♡ ひぐうつ♡ わ、私は、正義の味方、な
んだから…♡ こんな卑劣なおチンポなんか、負けるワケっ、にやいいいっ！♡♡」

「負けないっ♡ 負けにやいんだからああっ♡ あっ！♡ おぐうつ♡ んっ！♡ んん
んうつ♡」

「ふ、深いっ♡ 奥までっ♡ おチンポでっ♡ かき混ぜられっ、てるうつ♡」

「ひぐうつ♡ んおっ♡ おおんっ♡ あっ、ああっ、あうんっ♡」

「き、気持ちいいのっ、止まんないっ♡ うっぐっ♡ あっ、ああっ♡ あうんっ、ん
んんうつ！♡」

「こんなっ♡ 見られてっ♡ 感じるなんてっ♡ おかしいっ♡ おかしいからあっ♡」

「んんんっ♡ そんなのっ、不潔ですっ♡ ただの変態じゃないのっ…んんあっ♡ あっ、
あっ、ああっ♡」

「私がっ、みんなのまえでっ♡ おかしやれてええっ…♡ んっぐっ♡」

「喜んでるワケっ♡ ないっ♡ こんなのっ♡ 嘘よっ♡ 絶対、おかしいんだからああっ♡ ひうっ!♡ んんあっ!♡ なんでっ、こんなに気持ちいいのお…んっ、んっ♡ んんうっ♡」

「…ああっ、ダメっ、ダメえっ♡ もうっ、無理い…はあはあ、はあはあ…うっぐっ♡ 大きいのっ♡ 来ちゃうっ、来ちゃうからああっ♡」

「気持ちいいのっ♡ 止まんないのっ♡ 無理っ♡ ダメっ♡ もうっ、いやあああっ♡」
「おかしいのにつ♡ イっちゃうっ♡ こんなこと♡ ありえないのにつ♡ もうっ♡ 限界なおっ!♡」

「もうっ♡ イくっ♡ イくのっ♡ イっちゃうっ♡ イくっ!♡ イっぐっ!♡」

「んううううあああああつつつつ!!--!♡♡♡♡」

「あゝっ♡ あああ…♡ あゝっ、うゝうっ♡ はあっ…はあっ…はあっ…くっ…ううんっ♡ はあっ、はあっ……んっ♡…はあ、はあ、はあ…ああ…あっ♡…何をっ…いつ、嫌っ!」

「み、見ないでっ! こんな姿っ…わっ、私じゃないっ…うぐっ…ううう…」

「ああ…みんなの視線が…こっちを…見てるう…♡　なんで！？　催眠中、なのにつ…な
んでっ、見ないでっ…見ないで、おまんこにおちんちんずっぽり差し込まれてゴムもつけ
ずに生でせーしいっぱい中出しされてるところお♡　ひっぐっ♡　あっ…ああっ♡」

「はああ、はああ、ううっ…うぐっ…♡」

「あっ…ダメっ♡　おかしいっ♡　こんなのっ♡　おかしいよおおっ！♡」

「私の体っ♡　バカになってるっ♡　見られてるだけなのにつ、こんな不潔なっ行為♡
感じちゃって…んんんうっ！♡」

「あっ♡　あああっ！♡　またっ、いくっ、いつちゃうゝう！」

「んゝうっ！　んんうああああああああああっ！…！♡♡♡」

「あ…♡　あ…♡　ああ…♡　はああ、はああ、んっぐっ…♡　ううっ…♡」

「ありえ、ませんう…♡　はあ、はあ、はあ…♡　見られただけで、絶頂、する、とかあ
…♡」

「はあ、はあ、はあ…本当に不潔、ただの変態だあ♡　…はあ、はあ、はあ…ああ
…♡……はあ、はあ♡　あは♡　全部脱いじやった♡　みんなの前で全裸で、勃起チン
ポ握ってる♡」

「こんな下品な格好で♡ お、お尻に……見られながらアナルにおちんちん入れてご奉仕するの♡」

「んっ……んおっ♡ おほっ♡……お尻の入り口いっぱい広がってえ♡ しゅごい♡……ん、んんっ！！ こんな不潔なことっ♡」

「あうっ♡ ああっ！♡ キたっ♡ キたあっ♡ んっぐうっ♡ おチンポっ♡ 一気にっ♡ キてるうっ♡ コレ気持ちいいっ♡ 気持ちっ、よしゅぎっ♡ いっぎっ♡ んんうっ！♡」

「あゝうっ！♡ んんごっ♡ うごおっ♡ おおんっ！♡ はあはあ、はあはあ、あっ♡ お尻っ♡ ジュボジュボされてるのっ♡ これっ♡ すごいっ♡」

「んほおっ♡ 気持ちいいのっ♡ とまんらいっ♡ とまんらいのおお！♡」

「アナルうっ♡ 掘られてっ♡ 感じちゃうっ♡ 癖になっちゃった♡ ああっ！♡ 深いっ♡ おチンポっ！♡ 根本までっ♡ 飲み込んじゃってるっ♡ んっぐっ♡」

「んおおおっ♡♡♡ あっ♡ あっ♡ あっ♡ ああっ♡ 一気にっ、引き抜かれるのっ♡ ヤバあっ♡ んっぐうっ♡ 意識っ♡ トんじゃうっ♡ 気持ちいいっ、気持ちいいっ、アナルっ♡ しゅごいっ♡」

「はあはあ♡ んんぐっ♡ わらしのっ、アナルっ、気持ちいい？ おチンポっ♡ 気持ちいいっ♡」

「あっ♡ あああっ！♡ あううっ♡ んおっ♡ ジュボジュボっ♡ しゅごおっ♡ アナルっ♡ 好きっ♡ ジュボジュボされるの♡ 気持ちよしゅぎてっ♡ もうっ♡ わらしっ…♡」

「ひっぐっ♡ またっ♡ イっちゃいましゅうううっ♡ 不潔で変態な、アナルエッチでっ♡ イくっ♡ イくのっ♡ イきましゅっ♡ イつくううっ♡」

「あゝあっ♡ ダメっ！♡ わらしがっ♡ イぐところっ♡ みんなにっ、見られてっ…んゝんううっ♡♡♡」

「イっぐううっ♡♡♡ んゝ おおおおおうっっ！…！♡♡♡」

「ひぐっ♡ あっ♡ あおんっ！♡ はひいっ♡ …はあ、はあっ♡ わたしっ、わたし…んっ♡ あっ？ 体、持ち上げて…あっ、あ！？ ダメっ…ダメえっ！！ いまっ、お尻からっ」

「おチンポ抜いたらっ…あっ、ああっ！！？ んぐおっ！♡ おおおおんっ！！♡♡♡」

「はあはあっ、出ちゃうっ！？ さっきいっぱい、出されたっ、精子っ♡ 出ちゃううっ♡」

「んっ♡ ああ…♡ 教室の中、なのにい…はあはあ、はあはあ…♡」

「みんなに、見られてるのにい…♡ お尻から精子っ♡ 吹き出してっ♡ わらしっ、またっ♡」

「いくっ♡ イっちゃううううううううううっ！…！♡♡♡」

「ひっぐっ♡ んおっ♡ おうっ…♡ はあはあ、はあはあ、ああ…♡ ああ、あああ

…♡ 前の席に座ってる子まで飛んじやってる♡ 床いっぱいにせーしと、私の体液でぐっちやぐっちの♡ くっさい水たまり♡ できちゃってるっ♡」

「とっても不潔♡ 不潔なのにつ♡ あはっ♡ …ちゅっ♡ んふふっ♡」

「せーし臭くて♡ 素敵♡ あははは♡ あははははははは♡♡♡」